

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）実現のために
[メリハリのある働き方の実現]

**「社員の健康は企業成長の源泉」
 仕事も私生活も大事にする企業風土**

CASE 6

キヤノン株式会社



キヤノン株式会社
 人事部 課長

狩野 尚徳 氏

— キヤノンでは、今日のようにワーク・ライフ・バランス(WLB)の重要性が叫ばれる以前から、休暇・勤務時間制度を充実させてきたそうですね。

狩野 ● 当社では、以前から「健康第一主義」を行動指針として掲げてきました。1959年には、勤務時間中はしっかり働き、終業後は速やかに帰宅することを奨励した「GHQ(Go Home Quickly)運動」を始め、67年に当時まだ珍しい完全週休2日制を導入しました。

— 週2日のノー残業デーも徹底していると聞いています。

狩野 ● もともと効率的に働いて早く帰るという風土はあったものの、最近ではなかなか残業時間が減りませんでした。そこで厚生労働省の「仕事と生活の調和推進プロジェクト」への参画をきっかけに、残業削減のための取り組みを全社的に強化しました。「時間内に効率的に働くワークスタイル」を浸透させるには、社員の意識が変わることが重要です。そのため、社内広報誌などを通じて、経営トップのメッセージや職場の取り組みを紹介して啓蒙を図っています。またポスターも掲示しました。

— 朝礼も、WLB推進のために効果があるとか。

狩野 ● 当社では、多くの部門で毎朝朝礼を行っています。これにより部員の当日の業務状況を確認でき、必要な負荷分散もできます。「体調が良くなさそうだな」などと健康面の配慮もできるので、朝礼はおすすみたいです。

— 「仕事と育児の両立支援」にも力を入れていますね。

狩野 ● 女性社員の育児休業の取得率は、ほぼ100%です。結婚や出産・育児



キヤノン株式会社
 代表取締役社長

内田 恒二 氏

キヤノンが目指すWLBとは

**「しっかり働き ゆっくり休む」
 ~時間内に効率的に働く
 ワークスタイルの確立~**

を理由に退職する人はほとんどいません。また、2009年には本社の隣接地に、地域の方々にも利用していただける東京都認証の保育所を開設しました。

— 今後の方針をお聞かせください。

狩野 ● 「企業の成長は、社員の健康と充実した私生活があってこそ成り立つ」という創業当時の考え方は、今もキヤノンに生き続けています。仕事も私生活も大事にする企業風土をこれからも大切にしながら、働き方のさらなる改善に取り組んでいきたいと考えています。

**WLB支援に取り組む
 10社の事例を連載中!**

※()内は掲載(予定)号

「休暇の取得促進」

株式会社電通 (10/5号)
 鹿島建設株式会社 (10/12号)

「メリハリのある働き方の実現」

株式会社日立製作所 (10/19号)
 株式会社大和証券グループ本社 (10/26号)
 全日本空輸株式会社 (11/2号)

キヤノン株式会社(今回掲載)

「仕事と育児・介護の両立支援」

三井化学株式会社 (11/16号)
 日産自動車株式会社 (11/23号)
 株式会社高島屋 (11/30号)
 住友商事株式会社 (12/7号)

今回の
 ポイント

**コミュニケーションを密にすることで
 効率的な働き方を実現**

いい仕事しよう。いい人生しよう。

12月7日(月) 東京
 丸の内 MY PLAZAホール

仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) 講演会開催

司会
 久保 純子

12月9日(水) 大阪
 大阪府立男女共同参画・青少年センター

詳しくは、HPまたは「仕事と生活の調和講演会」事務局まで お申し込み: <http://www.face2.jp/wlb/>
 TEL: 03-3545-2372(10:00~18:00 土・日・祝日を除く)

講演会のお申し込み先のウェブサイトにつきましては、株式会社フェイス・ツー・コミュニケーションが運営しております。当サイトは、12月9日まで有効となっております。

仕事と生活の調和推進プロジェクト

検索



ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/>